

安全に関する改善事例

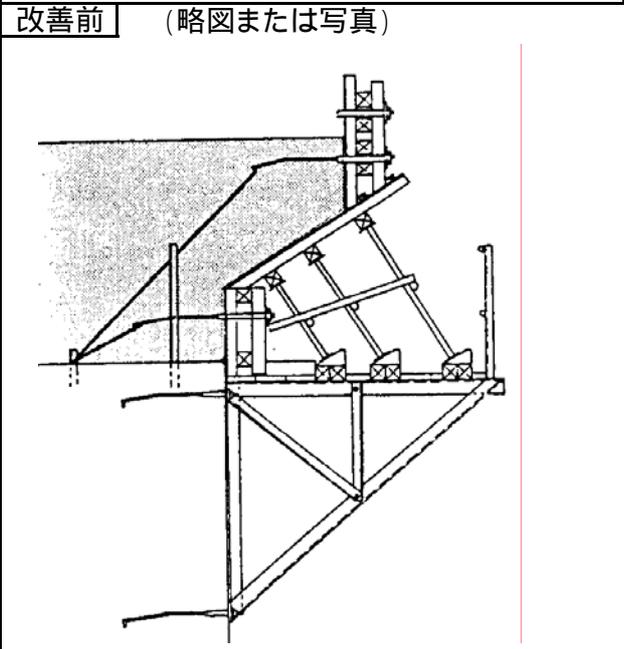
記入日: 2005年 10月 31日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
梶毛ダム	広島県	広島県	G	49.0	225.6	94.8
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	墜落・飛来落下	人的要因・設備要因	高所作業	有 : <input checked="" type="radio"/> 無	
改善の概要: 張出し部にプレキャストコンクリート型枠を使用					特許の有無	
プレキャストコンクリート型枠を用いて、張出し構造物(ダム堤頂部ピア等)を構築。					有 : 無	

メリット:
 1) 工期短縮
 2) 打設後のプレキャスト型枠は永久構造物として存置
 3) 安全性の向上(構造物外側での作業無し)

デメリット:
 リース材等により容易に支保工が組立可能なケースでは、割高となる。



ダム堤頂部張出し構造物は、従来、現場製作のブラケット支保工とバラ型枠にて施工していた。高所(ダム堤頂部)での施工であり撤去時をはじめ安全面に特段の注意が必要であった。現場製作ブラケット支保工とサポート支保工を組合せ、バラ型枠にて施工をおこなう。



張出し形状にあわせたプレキャストコンクリート型枠を製作。構造物内側よりプレキャスト型枠を吊ることにより支保し、構造物を構築。